

碧山だより



5月号

令和5年 4月28日
西東京市立碧山小学校
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-hekizan/index.html>

安全と自律

校長 稲富 泰輝

碧山小学校に着任して、1か月がたちました。

校長として子どもに伝えてきたことは主に2つです。

1 安全に学校に来て、安全に帰りましょう。(安全)

入学式で早速、1年生に伝えました。安全に生活していて、命さえあれば、大体のことはできるといふことなのです。生きていて上手くいくこと、上手くいかないことがあったとしても、色んなことを学校で学んでいきましょう。

2 自分でできることは自分で行う。できないことはお互いに助け合う。(自律)

このことはオンライン朝会で伝えています。私は子どもになるべく、自分でできることは最後まで取り組ませよう先生たちに伝えています。どんなにがんばってもできないことは、支援をしますが、その支援は先生が全部するのではなく、できれば子ども同士でできるようにしていく学校づくりを始めています。

この、2つを中心に学校では話をしていきますが、この紙面では校長からのメッセージを伝えることができる機会をいただきましたので、時折、私の少年時代の話をさせていただきます。

思い出・自律「大きい打球が打てなかった少年 稲富 泰輝 その1」

私は、少年野球を小学校の時にやっていました。

体は小さくなく、あまり遠くまでボールを投げたり、打ったりすることができない子どもでした。このような少年ですから、試合の時に最初から出るメンバー（レギュラー）になれませんでした。

5年生終わる段階で、新しく6年生になるチームのメンバーは12人。私より上手な新しい5年生は3人。このままだと、実力的には15番目の選手（野球は9人までしか出場できない。）になります。6年生になっても、試合に多く出られそうにありません。

そんなとき、父親に今まで使っていた金属のバットをやめて、木のバットにしたらと言われ、バットを変えられるという出来事がありました。その理由として、「みんなと同じことをやっていたら、試合に出られない可能性がある。泰輝の得意な部分を生かすことが大切だと思う。木のバットは今までとボールの飛び方は変わるんだ。どうしたらいいか考えなさい。」

と伝えられました。私の得意な部分？と考えましたが、得意な部分を父親は教えてくれませんでした。

その後、練習の際に打撃（私は左打ちです。）をしていると、どんなに打っても、ショートかサードの前にゆっくりしたゴロしか打てませんでした。金属バットで打っていた時は、もう少し速い打球を打つことができていたのに……。しかし、ここで不思議なことが起きます。途中から試合に出たときに、サードかショートの内野安打が何回も続き、バットに当てて速く走れば塁に出られることに気づきました。塁に出る可能性が高いことから、多く試合に出ることができるようになったのです。

自分で気づき、自分で勝ち取ったこの経験は、今の私の考え方の主な部分を占めています。もしも、父親が全部答えを教えていたら、経験できなかったと思います。これこそ、自分でできることは自分で行う（そして力にする）ということだと信じています。

続きの、その2は、また機会があるときに紹介させていただきます。



5 月 行 事 予 定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	月	開校記念日 聴力検査（1・5年） 委員会	15	月	㊟タブレット学習 クラブ
2	火	眼科検診（2・4・6年）	16	火	眼科検診（1・3・5年）
3	水	憲法記念日	17	水	なかよし班集会 避難訓練
4	木	みどりの日	18	木	歯科検診 2・4年
5	金	こどもの日	19	金	尿検査 2次
6	土		20	土	
7	日		21	日	
8	月	全校朝会 聴力検査（2・3年）	22	月	全校朝会
9	火		23	火	
10	水		24	水	児童集会 児童・生徒の学力向上を図るための調査(6年)
11	木	歯科検診（1・3年）	25	木	尿検査 2次追加日
12	金	耳鼻科検診（全学年）	26	金	体育授業参観（児童鑑賞）
13	土	5/1～10/31の間、西東京市役所 職員がクールビズを行うことに 準じて、碧山小学校の職員もク ールビズで執務します。	27	土	体育授業参観（保護者鑑賞） 5時間授業 軽食持参
14	日		28	日	
5月の生活目標 学校のきまりを身につけよう			29	月	振替休業日
			30	火	歯科健康指導（3年）
			31	水	歯科健康指導（6年）

スクールライフの
QRコード



スクールライフの
QR コード

